

環境まちづくり委員会 送付 7-16

二番町地区再開発に関する陳情

受付年月日 令和 7 年 5 月 21 日

陳 情 者 提 出 者 1 名

千代田区議会議長 秋谷こうき様

陳 情 書

二番町地区再開発に関する陳情

陳情者:

住 所:

電 話:

1) 2023 年までに日本テレビから提示されていた様々な資料は、大変美しく夢があるように描かれていますが、木々の緑の量、日差し、子供を描くことによって広場が広く見える感じなど、事実と異なる錯覚を起こさせると思われるような表記もありました。住民と事業者のイメージがかけ離れているので、その整合性を求めるのに時間とエネルギーが必要です。それよりは住民目線での具体的で現実に即した表現の方が、疑心暗鬼にならず前向きな話がしやすいです。配布資料*では、四番町にある番町の庭利用者アンケートで回答者の「90%が青空空地を求めている」という文言があります。利用者や幼稚園・保育園関係者が青空空地を求めることは一般論としては理解できます。しかし、具体論として二番町再開発に当てはめると、「高層ビルの北側あるいは高層ビルに挟まれた空間で、ビル風が吹き下ろす広場でもあった方がよい」と次の段階の質問もしなければ、真に住民や利用者の要望を聞いたことにはならないのではないのでしょうか。アンケート調査などを実施する場合は、表面的ではなく、住民や利用者の真意をとらえられるような段階的に踏み込んだ意向調査をして下さることを希望致します。

*2022 年 12 月 8 日都市計画審議会 配布資料1-2 都市計画提案の概要 p28

①~⑧の

2) 日テレは二番町 D 地区に賃貸オフィスビルを建設することにより、鉄筋コンクリート建築物の耐用年数約 50 年間の家賃収益を得ます。地区計画の変更に伴う、現行より 20m も高い地上 80m 以下の高さの緩和と容積率の緩和は、日テレが挙げている以下の地区施設等(上記資料* P33 ~36 参照)と採算のバランスが取れているのか、住民が納得できるよう採算の数字を示して説明して頂きたいです。行政はあくまでも中立・公平に住民が何を得、その対価として何を失うのか事実のみを伝えて頂きたいです。

①地下鉄改札階 B1 から地上出口 F1 への エスカレーター(上下、計 2 台)

番町方面のホーム階 B2 から B1 へのエスカレーターは不明。

②改札階 B1 から地上出口 F1 へのエレベーター 1 台

③地下鉄通路拡幅

④歩道状空地

⑤地域交通広場整備

⑥番町中央通一部拡幅整備

⑦広場・緑地・交流拠点等の整備

⑧エリアマネジメント・防災機能



3) 今後、千代田区で行われる開発事業において住民が過大に期待するような「地域貢献」という言葉は行政は使わないで頂きたいです。その事業が「貢献」であるかどうかは、地元の住民が決めることではないのでしょうか。行政は開発事業を中立・公平に評価し、そのメリットだけではなく、デメリットも事実として住民にきちんと説明して頂きたいです。

また区議会には、その説明が正しく行われているのかをチェックすることを望みます。

4) エリアマネジメントの活動内容が不明です。エリアマネジメント棟だけ低層の施設にする理由も不明です。この施設の建設費や使用料は誰が、どのような形で負担するのか疑問に思います。情報をクリアに公開して下さい。

以上